

民法第三百四十九条外二条修正意見

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/533

民法第三百四十九條外二條條意見

一 民法第三百四十九條ハ質取之カ借用証書又ハ返請期前ノ
別約ヲ以テ流シ質ヲ約シ居ル法律ニ定メ又方法ニ依ラズシテ
質物ヲ處分スルコトヲ禁シタルモノナレハ當時一般ニ行ハル、
處、借用全証書又中斷賣却又ハ勝手ニ賣却云々ノ約又
ハ恠モ遺法ノ契約コレヲ當ニ其一部分カ無効タルノミナラス
債權全部ニ影響ヲ及スノ危險ナキ能ハストノ一説モ亦謂
レナキニ非ラサルナリ何トナシハ從前質物處分ニ關スル法律
ノ制定ナキ場合ニ於テ債權者カ再認適宜勝手ニ非道ノ
處分ヲ為シ債務者ノ不利層ニ歸スルヲ避ケテ之ヲテリシテ以
テ畢竟債權者ノ專横ヲ抑ヘシカ爲メ本條ノ如キ規定ノ必
要ヲ生スルニ至リシナラシカ然レバ今ヤ既ニ質物ノ處分ニ關
シテハ現行民法第三百七十一條第三百七十二條第三百七十三
條ニ規定ノアルアリテ商事質ニ關シテハ該方法ニ從ハサルハ
カラサルコト勿論ニシテ適宜賣却ト云フハ即チ法律上規定
ノ範圍内ニ於テ適宜處分スルノ意味ナリト解釈スルニ
於テハ更ニ危險ノ虞ナキモノト信ス然レバ第十三條倉庫ニハ
被ノ高估條正業ハ必ス提收セラルヘシト聞知セリ而シテ其條
正業ニ依リハ商事質ノ條項ハ全然削除シアルヲ以テ該條
正業或立セシカ商事質權ノ條項ハ消滅シテ一定ノ習慣ア
ルモノ外ハ一般法即チ民法ニ據ラサルハカラサルニトナルヘシ
然ル中ハ競賣ニ附スルノ一途アルノミ元來競賣法タル公平ハ
即チ公平ナルヘシト長ク商事質ノ如キ偶々多數ノ物件ヲ一時
ニ競賣ニ付スルノ場合ニ於テハ竟ニ市場ニ劇賣ヲ來シ質
權者ヲテテ様敵ノ處置ヲ爲サシムル能ハズ抑テ双方ノ不利層
ニ歸スルコト多クハハシ具シテ然ラバ偶々債務ナキ債權者ノ

專横ヲ折ヘシカ爲ニ一般ノ不便ヲ来スニ至リテハ頗ル遺憾ト認ムルハサレ得ヌ故ニ此項ノ中ノ隨意契約ニ効力ヲ有セシムル本条ヲ全然削除セラレシコトヲ希望ス

然リトモ民法第百七十四條ニシテ確定ノ今日ニ於テハ容易ニ修正シ難キ事情アルハサレ已ムヲ得サル次第ナルヲ以テ本条ノ如キモ現行商法第百七十五條第百七十三條第百七十三條ノ如ク特種ノ事情アルハ商事實ニ関シテハ現行法同様商法修正案ニ特別ノ規定ヲ設ケラレ商事實ニ関スル便宜ヲ與ラレシムルヲ希望ス是ハ商法修正ノ真意ニ協フモノナラシト信ス

一 民法第百七十四條ニ記名ノ債権ヲ質物トナス場合ニハ第三項債権者ノ質権ヲ通知スルニ非シトモ完全ナル質権ノ効力ヲ定メス尤モ記名株式等ノ之ヲ適用セストアリシモ此ノ如クナル件ハ記名ノ債ノ如キハ國庫ニ通知セザルヘカラスシテ遠隔ノ地方ニアリテハ其不便ハ勿論之リ爲後々ノ煩雜ヲ惹起スルノミナラス記名債権ヲ以テノ範圍ハ既ト杜絶スルニ至ルヘケレハ本條第一項ニ左ノ如ク修正ヲ加ヘラレシムルヲ希望ス

前項ノ規定ハ記名ノ國債証券地方債証券社債券及株券ニハ之ヲ適用セズ

一 民法第百七十五條ニ記名ノ社債券ヲ質物トナス場合ニハ其會社ノ專横ニ質入ノ旨ヲ登記スルニテマラサレハ第三項ニ對シテ効力ナキコトヲ規定セリ而シテ現今ノ社債券ハ悉ク記名式ナレハ前條記名債券ト均シク手續ノ煩雜ヲ免レザル爲メ社債券ハ終ニ担保トシテ流通ノ困難ヲ缺クニ至ルヘシ故ニ記名ノ株式ニ對シテ特例ヲ設ケルカ如ク前條第二項修正案ノ通りニ社債券ヲ押入シ本條ヲ削除セラレシ事ヲ希望ス